

丸文、芝居小屋「日本橋座」公演に協賛し、江戸文化の継承を支援 ～本社を置く日本橋への地域貢献活動に参加～

エレクトロニクス商社の丸文株式会社（代表取締役社長 兼 CEO / COO：堀越裕史、本社：東京都中央区、以下、丸文）は、江戸の文化を現代に継承・発信する「蔦重日本橋プロジェクト」の趣旨に賛同し、同プロジェクトが協力している江戸文化復興委員会主催の『芝居小屋「日本橋座」公演』に協賛しましたことをお知らせいたします。

【協賛の背景と当社の想い】

当社は、本社を置く日本橋地域への貢献活動の一環として、「蔦重日本橋プロジェクト」に協賛しております。同プロジェクトは、2025 年の NHK 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の放送を機に、主人公・蔦屋重三郎が開業した地本問屋「耕書堂」が近隣の旧通油町にあったことにちなみ、地域町会が主体となって日本橋の活性化を目指して始動したものです。

当社は、江戸時代に呉服問屋として創業し、現在は最先端のエレクトロニクスを扱う商社として事業を展開しています。創業 180 年を超える歴史で培った「先見・先取の精神」で技術革新を追求する一方、事業基盤である地域の豊かな文化を守り、未来へ継承することも企業の重要な社会的責任であると考えております。

こうした理念に基づき、当社はこれまで、同プロジェクトが主催する「浮世絵スタンプラリー」やデジタルスタンプラリー「蔦重と歩く日本橋」にも協賛してまいりました。

今回の協賛も、この想いを形にする取り組みの 1 つです。これらの協賛を通じて、日本橋が持つ歴史的・文化的価値の向上に貢献し、地域全体のさらなる活性化に繋がることを期待しております。

当社は、今後も事業活動を通じて社会の発展に貢献するとともに、社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。



本社 1 階入口の浮世絵フィルム。「雛形若菜の初模様 松葉屋瀬川」

【協賛内容について】

このたび、当社が協賛する『芝居小屋「日本橋座」公演』は、江戸の粋な文化を五感で体験できるイベントです。当日は、本格的な伝統芸能の公演のほか、日本橋ならではの味覚が楽しめるグルメもお楽しみいただけます。

イベント名	芝居小屋「日本橋座」公演イベント
開催日時	2025 年 10 月 26 日（日） 11 時～16 時 （公演イベントは 13 時開演）
開催場所	十思スクエア 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 5-1 （アクセス）東京メトロ日比谷線「小伝馬町駅」徒歩 1 分
参加費	無料
公演内容	第一部：和洋楽器演奏「白衣天人（びやくてんにん）」 第二部：古典芸能 演目「連獅子」
URL	https://www.nihonbashi-za.jp/

<丸文株式会社について>

本 社 : 東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1
設 立 : 1947 年
代 表 者 : 代表取締役社長 兼 最高経営責任者（CEO）、最高執行責任者（COO）堀越裕史
従 業 員 : 1,179 名（連結：2025 年 3 月 31 日現在）
資 本 金 : 62 億 1,450 万円
売 上 高 : 2,108 億円（2024 年度連結）
事業内容 : 半導体や電子部品、システム機器などの国内外の先端エレクトロニクス製品を販売する商社。
東京証券取引所プライム市場に上場。（コード：7537）
U R L : www.marubun.co.jp

イベントへの協賛に関するお問い合わせ先
丸文株式会社 総務部 担当：林
TEL: 03-3639-9801
E-mail: shisetsu@marubun.co.jp

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
丸文株式会社 経営企画部 担当：酒井・熊谷
TEL: 03-3639-3010 FAX: 03-5644-7693
E-mail: koho@marubun.co.jp